平和と人権」市民ネットワーク情報　N019-10

事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　2019.10/18

11 月 9 日(土)「沖縄スパイ戦史」上映
三上智恵監督からのメッセージ

静岡県伊東市の皆さん。いつも私たちの映画を上映し、応援していただき誠にありがとうございます。

2013 年の『標的の村』以来、5 年で 4 本のドキュメンタリーを作りました。こんなペースで映画を作っている人はまず珍しいと思いますが、誰かが私に、がむしゃらに作れと命じているわけでもないんです。沖縄の状況が加速度的に悪化しているので、次々に伝えていっても間に合わないという強い焦りが私を動かしています。

高江のヘリパッド建設も止められなかった。辺野古もついに埋め立て開始、前作『標的の島 風かたか』でも警鐘を鳴らした自衛隊による奄美沖縄の軍事要塞化も、石垣島以外は着手されてしまいました。

ドキュメンタリー映画という手段で沖縄を救い、日本の劣化に歯止めをかけるという私の企みは事態の進行を振り返れば如何にも無力であり、敗北感は拭えません。

だから、今回は日米両政府を相手に踏ん張っている、魅力的な沖縄の人々の姿を描くという手法をやめ、ガッツリ沖縄戦を検証するドキュメンタリーを送り込むことにしました。みていて苦しくなる場面もあるかと思いますが、もう沖縄戦の毒を持って、戦前に回帰していくこの国の闇を制するしかない。伝家の宝刀を抜くつもりで沖縄戦の裏の歴史をスクリーンに叩きつけてみました。

今回はテレビ局時代の後輩である大矢英代さんと 2 人で作りました。彼女は激動の沖縄報道の現場を一緒に駆け回った同士でもあります。他にも、離島びいき、おじいおばあ好き、など共通点も多く、制作期間中何度となく暗礁に乗り上げた時もお互いフォローしあってゴールまで来ました。

三上智恵監督

2 人とも、沖縄の大勢のおじい、おばあたちから戦争の聞き取りをして来た中で、その苦しみをどうやって和らげてもらえるのか、 今も続く戦争の島の苦しみからどうやって解放してあげられるのかをいつもいつも考えて来ました。その一つの答えは、私たちが引き受けて全力で走るから、少しは荷物を降ろしてねと伝えることでした。

何もできていない私たちですが、あの戦争を生き延びた人の声、島の土の中からまだ叫んでいる死者たちの声、両方を聞いた私たちの世代の責任は、彼らの負の記憶をこれからの時代を守る予防注射や特効薬にすることしかないと考えています。

敵の弾に当たったわけでもなく、日本軍の作戦の中で大勢の沖縄県民が死んでいったのはなぜなのか。なぜ、日本の軍隊は住民を守らなかったのか。なぜ守れなかったのか。国防を考える前段として、全ての方に沖縄戦の「裏戦史」をご覧いただきたいと願っています。

三上智恵

◆11/9(土)「ひぐらし会館」13:30　開場。　チケット 500 円/枚、当日券もあります。

当日は映画上映に先立ち、13:30～14:00 沖縄報告会があります。

沖縄青年派遣団に参加して

昨年１１月２２日から２４日にかけて、沖縄基地・戦跡視察という貴重な機会を与えて下さり感謝を申し上げます。僕たちも日頃から沖縄に様々な問題があることはテレビ等で目にし、知識としてあったつもりではいましたが、実際に現地に行き自分の目で現場を見てみると、想像以上の衝撃を受けました。僕たちが辺野古や高江で見て聞いて感じたことを皆様にすこしでもお伝えできればと考えておりますので、11 月 9 日は是非会場まで足をお運びください。

寄稿　議会報告会の開催を　ITO アートサロン佐藤哲朗

9 月 22 日の市議選の投票率は過去最低の 50.59%という結果になってしまいました。

私たち ITO アートサロンは、市議選の低い投票率をなんとか上げたいという思いから、市議選に先立つ 9 月 1 日に、市議選立候補予定者による公開討論会を健康福祉センターで開催しました（約 150 人の来場者がありました）。しかし、このような結果に終わってしまったのは、残念としか言いようがありません。公平を期して全立候補予定者に案内を出したにもかかわらず、9 名の方しか出席してもらえなかったのも残念でした。

9/2 伊豆新聞より

また、9 月 13 日の伊豆新聞の寄稿欄に「しがらみで選ぶ選挙はもう終わりにしよう」と題した一文を投稿し、地縁・血縁・義理で選ぶのではなく、候補者の主張・資質を十分見極めて投票するよう訴えたのですが、しがらみで選ばれたとしか思えない人が何人かいるようです。リーフレットを見る限り、何を目指して立候補したのかまったくわからない候補者が 1500 票以上で当選しています。

有権者・候補者の意識を高めていくのは事程左様に容易ではありませんが、諦めずに地道な努力を続けていくしかありません。そこで提案ですが、議会ごとに毎回は無理としても 1 年に 1 回、誰がどんな質問をし、提案をしたのかを検証する議会報告会を、市民も参加する形で開催してはどうでしょうか。伊豆新聞や CVA にも取材してもらうことで、誰がどんな活動をしているのかがわかりますし、また誰が欠席したのかもわかるので、次の選挙のいい判断材料になるはずです。

また、市議会を傍聴するのも市民の務めです。傍聴席がガランとしていては見られる方も張合いがないでしょうが、傍聴人が大勢詰めかければ緊張感も生まれ、やる気も起こるというものです。時間がある人は是非傍聴に行ってください。

安倍九条改憲 NO！憲法を生かす 3000 万署名の成功を！

市民アクション通信

No.20
2019.10.19

発行 ＝ 安倍九条改憲NO！伊東市民アクション
署名集約先：伊東市職労付　〒414-0046 伊東市大原 2-1-1　Tel.0557-37-9134　Fax.0557-37-1347

草の根からの改憲世論づくり（10/12 赤旗より）

自民党は、地方での改憲機運を盛り上げるため、10 月１１日「憲法改正推進遊説・組織委員会」を立ち上げた。古屋圭司氏を長に、全国の小選挙区単位に改憲推進本部設置し、「日本会議」と連携して「草の根」活動を強める方針だ。18 日には二階幹事長の地元・和歌山で 1000 人規模の改憲集会を開き、下村博文・前改憲推進本部長が講演し、安倍首相がビデオメッセージを寄せる予定だ。

「９条の会」は声明を発して、「国会審議と並行して、草の根からの改憲世論作りに本　　腰を入れようとしている」と警告している。

わたしたちの運動
3,000 万署名の経験を話そう（前半）
－10 月 9 日荻地区の共同署名活動を終えて－

出席者　　（稲葉芳子、伊藤泰子、伊藤廣光、持田千早、篠原和雄、三好康昭）

(1)今日の反応はどうでしたか

司会

今日の署名の様子から、話してください。

〔A さん〕

ドア越しに話を聞いてくれた奥さんが二人。外に出ていたおばあちゃんには、15 分くらいしゃべらしてもらった。「戦争は嫌いだけど、政治はよくわからないので」と言うので、「皆さんは戦後の平和の生き証人だから、私たちはそれを集約させてもらって、是非国会に届けたい」と話して、何とか書いてもらった。

司会

私の場合は、相手が話すことが多い。「ここの道をなおしてくれない」とか、健康のことや、「あそこの病院にいってもちっともよくならない」とか。(笑い)

(B さんが戻る)

〔B さん〕

19 筆とりました。(スゴイねー、名人だね) 訪ねたところはだいたい書いてくれた。アクションの呼びかけ人の写真を見せるとやりやすいね。有名人が載っているから。この人なんか用紙を一枚おいてきた。「子どもが多いから書いておく、留守だったらポストに置いておくから」と言う

のでこの人には用紙を 1 枚おいてきた。よくしゃべるんだ、30 分くらいかかった。（ハハハ）

司会

累計ではいくつになりましたか。

〔B さん〕

今日の 19 筆を入れて、約 700 筆。

司会

C さんはどうでしたか。

〔C さん〕

一番初めのところはおばさんが出てきて、やってくれそうな雰囲気だったけど、用紙の最初に書くのはイヤだ、と断られた。最初に書いてくれた人は足がチョコチョコしか動かない。危ないから、「代筆しましょうか」と言ったら、「いやこれは本人でないとダメだ」といって書いてくれた。半分ぐらいは断られました。今ガスを使っているとか、葬式の何とかかんとか、と言って。「私は考えが違います」という人も。歩いているおじさんがいたので、「署名をお願いします」と言ったら、「俺は、安倍が大好きなんだよ」と言われた。理解は浅いな、という感じでした。

〔B さん〕

二人ぐらい断わられたけど、ほとんど協力的だった。平和は絶対必要だ、という人ばっかりだった。25 条に励まされて働いてきた、というおばあさんがいて老夫婦が書いてくれた。真向いの若い人が植木をいじっていたから、署名してもらおうとしたら、そのおばあさんが「やってあげなさいよ」と声をかけてくれて署名してもらった。今日は効率が良かった。

〔C さん〕

若い女性も二人ほど署名してくれた。ちょうど車で帰ってきた人がいて、止めるのを待って署名をお願いしたら、「今勤め帰りです」と言いながら書いてくれました。

〔D さん〕

二人で歩いて、１２筆です。「市民アクション」ということで、今まで廻っていないところを廻れた。行かなければ知らないわけだから、大変だけどやるのは大切だな、と感じた。

若い人が三人親子で出かけるところで、話をしたら署名をしてくれたのがすごく良かった。おじいさんは、「戦争で解決しなくては、北朝鮮や中国が攻めてくる、このまま黙っていられない」と赤い顔して言っていた。そういう人がいるんです。子どもたちがこれから少なくなってくるのがわかっているのに、「その子たちが頑張って戦争に行かなくてはダメだ」って言う。留守や空き家が多いけど、やればやっただけのことはある。

司会

極論する人に反論するのですか。

〔D さん〕

反論すると余計カッカするから。時間の無駄だし。その隣の人は出てきてサッと書いてくれた。私たちの声が聞こえていたみたい。

〔A さん〕

身元が分からないと危ない世の中だから、「伊東市平和委員会の〇〇です」と最初に言う。

〔D さん〕

そうですね。「市民アクション、市民の会です」と言ったんです。身元をはっきりさせるように。「戦争には反対するけれど、これには書けません」と言う人もいた。

〔E さん〕

戦争は反対だけど、今の状態だと戦争になっちゃう、という理屈で、「９条改憲 NO」を受け入れない人が 2 割から 3 割いるかな。多くの人は「９条は大事だ」というのはあるんだけども。いちいち、「どこの政党ですか」と聞く人も多い。

〔A さん〕

「私は平和を愛するもので、その集まりの平和委員会です」と言う。「あなた方も大きい声を出してくださいよ」と。「ここに名前を書くだけで数倍の力になるんです」ってね。

司会

攻められた時不安だという人は多いですよね。そういうときは、「こっちが外に行くことが出来るように、海外での戦争を可能にするために憲法を変えようとしているんです」と言う。わかる人もいる。専守防衛の自衛隊ならいいけど、それ以上に攻撃的なのは困る、という反応もある。

(2)共同署名のやりやすさと難しさ

司会

「9 の日行動」を始めて 1 年になりますが、皆さんにとってどういう意味がありますか。普段の署名行動と変わりませんか。

〔B さん〕

やり方は変わらない。今日のように理解のある人が多いと署名が進むけど、相手によっては拒絶する人もいる。いくら軍備を増強しても相手も増強して競争になる。戦闘機を安倍なんか 100 機も買って 1 兆円も使う。そのお金を国民に使えば消費税を上げなくてもやっていける。そういう話をすると理解される。署名しない人なんかよく武力でやられるというけど、いきなりボンとやられる可能性はゼロに近い。鵜呑みにしている。

〔A さん〕

極端だよね、「不意打ちをしてくる」って。「そんなことあり得ますか」いって言っても最初から聞く耳を持たない。かみ合わない。

〔D さん〕

軍事費を 5 兆円も出している事実を庶民は知らない。それと消費税との関わりを話すだけでも今の疲弊した状態を変えられる、と話すことが出来るのではないか。

「9の日行動」に女性が参加するというのが、なかなか忙しすぎて出来ない、というのがあります。

司会

ここに来なくても、時間のある時ちょっと署名に行ってみる、というのがあれば少しずつ増えていくと思うのですが、今伊東市で 8,400 筆ぐらい。ある程度の数まで行くと、そこから先はなかなか伸びない。

〔B さん〕

個人でやるというのは勇気も要るし、自分の都合でやめてしまう。一人で行くというのも難しいと思う。だから簡単に集まってグループでパット行けるようなものができれば、もっと活動が進むと思う。

司会

地域ごとに集まるところがあって、この日に行ってみようか、となってグループで行くようになると広がって行きますね。

〔C さん〕

もう少し 9 の日の参加者を増やして、その上にそれぞれの地域で出来るようになればいいけど、まだそこまでは……。

〔D さん〕

新婦人は 5 種類ぐらい署名が来ていて、「どうしようか」と頭を抱えている状態。大事だからバザーの時なんかにはやるんだけど、出て行ってやるのは無理がいる。

司会

地域でチョコと集まって署名取りに行けそうなところはどこだろう。

〔C さん〕

城ケ崎、伊豆高原、宇佐美、それぐらいですかね。あと川奈とか。

⑶長く続けるコツは？

司会

3,000 万署名が始まってもう２年ぐらいになるんですね。まだやるのか、というのもあるんですが、続けるコツのようなものがありますか。

〔C さん〕

戸別に廻ると、それはそれで面白いときもある。「こんな人もいるんだな」と。喧嘩したりとか、印象に残っています(笑い)。この前観光会館に集まってやった時、割と若い人で、自分の親父が共産党員で、いつもそういう話を聞かされイヤになっちゃった、というような話から、不破哲三はすごい豪邸を持っている、と。ネットでこのようなことは山のように出てくる。

司会

私が一番印象に残っているのは、小室山でベンチに座っている 40 歳くらいの女性に声をかけたら、娘が亡くなったばかりとてもそんな気持ちになれません、と言われた。3,４日して地域に戸別訪問に行ったとき、道を歩いている人に声をかけたら娘さんを亡くしたその人だったんです。「二度目で何かの縁ですから」と署名をしてくれました。

〔A さん〕

昔署名をやったとき、一回二回断られても、三度目に行くとお茶が出た、ということがありました。

〔C さん〕

伊東全域で何回も行けるぐらいやれればたいしたものだけど。一回も行けていない。

司会

長く続けるコツですが、一応月に５０筆を目標にしているけれど、数にこだわると負担になる。署名板を小脇にかかえながら小室山を歩いたりするんです。「署名してもらえなくても減るわけではない、一人でもやってもらえば１筆増えるし、ゼロでも損するわけではない」－そんなつもりでやっています。

〔B さん〕

「さくらの里」でやるのもいいですね。

司会

新婦人で河津桜の時にやったことがありますね。

〔D さん〕

人が多いから署名してくれるとは限らない。あまり落ち着きのない所だと、すぅーと行ってしまう。余裕がないとダメ。人がいなくても困るけど。

〔C さん〕

消費税の署名ですけど、鎌田のナガヤは軒下でやらせてくれる。店と駐車場の間で適度な間隔。あそこは署名してくれる確率が高い。伊豆高原のナガヤ前では 9 条の署名をやっている。拡声器を使ってやらせてくれる。

〔E さん〕

他のところでは拡声器ではできない。鎌田のナガヤも通りの反対側に出ないと。東急ストアは絶対ダメ。ビラ配りも。

(つづく)

☞11 月の「9 の日行動」は「沖縄スパイ戦史」の上映会と重なります。地域署名は行わず、開場の中に署名の席を設けます。